車いすで快適に乗車

県庁で出発式　UDタクシー周知へ

高齢者や車いす利用者、ベビーカーの親子連れら誰もが利用しやすい「ユニバーサルデザイン（UD）タクシー」の普及を目指す県は十二日、県庁前でUDタクシーの周知を目的とした出発式を開いた。

UDタクシーは車内が広く、手すりやスロープなどを備えている。原則、通常のタクシーと同じように街中を走り、電話で呼ぶことができる。料金も原則同料金。

普及に向け、県は昨年に車両購入費の補助制度を新設。県タクシー協会（静岡市葵区）を通じて、事業者に一台当たり定額十万円を補助する。二〇一七年度に五十三台を助成する予定。国も一台当たり六十万円程度を補助する制度を設けている。

出発式には、補助制度を受けて国の認定基準を満たしたトヨタの「JPN（ジャパン）タクシー」を購入した、静岡市の千代田タクシー、不二タクシー、静岡ひかりタクシー、島田市の金谷タクシー、三島市の伊豆箱根交通の五社が参加した。

県車椅子友の会（静岡市駿河区）の青野全宏会長は「普通に生活したいと願う車いす利用者にとってとても心強い。事業を推進してもらいたい」と話した。式の後、各社の車両に車いすの人と介助役が乗車し、県庁周辺を試乗した。

（垣見窓佳）

スロープを使ってユニバーサルタクシーに乗り込む車いすの女性＝県庁で

2018年1月13日土曜日
中日新聞　朝刊 16面